

平成29年度（第12期第10回）小平市廃棄物減量等推進審議会 要録

1 日時

平成30年1月16日（火）午後2時～4時

2 開催場所

中央公民館 講座室2

3 出席者

小平市廃棄物減量等推進審議会委員：12人（欠席者6人）

小平市廃棄物減量等推進審議会オブザーバー：1人

事務局：環境部長、資源循環課長、廃棄物減量施策担当課長、課長補佐兼管理担当係長、課長補佐兼施設整備担当係長、廃棄物減量施策担当係長、推進担当係長、事務局職員5名

4 傍聴者

2名

5 配付資料

参考資料 事務局からの報告事項（メモ）

資料1－1 小平市一般廃棄物処理基本計画（改訂）素案に係るパブリックコメント及び市民説明会の実施結果について

資料1－2 【小平市一般廃棄物処理基本計画（改訂）素案】パブリックコメントで寄せられた意見とその対応等（案）

資料1－3 【小平市一般廃棄物処理基本計画（改訂）素案】市民説明会で寄せられた意見とその対応等（案）

資料1－4 「小平市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて」（答申）一案一

資料2－1 小平市家庭ごみ有料化及び戸別収集への移行実施計画（素案）に係るパブリックコメント及び市民説明会等の実施結果について

資料2－2 【小平市家庭ごみ有料化及び戸別収集への移行実施計画（素案）】パブリックコメントで寄せられた意見とその対応等（案）

資料2－3 【小平市家庭ごみ有料化及び戸別収集への移行実施計画（素案）】市民説明会で寄せられた意見とその対応等（案）

資料2－4 パブリックコメント及び市民説明会で寄せられた意見（抜粋）

資料2－5 「家庭ごみ有料化・戸別収集への移行の実施内容について」（答申）一案一

資料3 施設の進捗状況について

6 議題（次第）

（１）事務局報告

（２）議事

- ① 一般廃棄物処理基本計画（改訂）案について
- ② 小平市家庭ごみ有料化及び戸別収集への移行実施計画（案）について
- ③ 施設の進捗状況について（報告）

（３）その他

7 会議の概要

（１）事務局報告

事務局 事務局からの報告事項に沿って報告

（２）議事

① 一般廃棄物処理基本計画（改訂）案について

事務局 資料１－１から１－４に沿って説明

オブザーバー パブリックコメントの扱いについては、ホームページに載せる対応をしている自治体が多いと思いますが、小平市ではどういう扱いをするのかお伺いします。

事務局 パブリックコメントにつきましては、資料２－２も含めまして、計画策定に合わせて、ホームページですべて公表することを考えています。閲覧できるようにもいたします。

委員 資料１－４の１で平成３４年度を最終目標年度と定めるとしていますが、３（４）施策の推進で、今後５年間で施策の推進に努めるとありますが、そのへんについて具体的に説明していただきたいです。

事務局 今回の一般廃棄物処理基本計画につきましては、平成２６年度から平成３４年度までの９年間の計画になっています。これまで４年が経過し中間見直しの時期が来ましたので、平成３０年度から平成３４年度までの後半の５年間でこの内容で実施していくことになります。

委員 資料１－４について、計画の数値目標値は、他の市町村と比較して何か違いがありますか。

事務局 資料１－４に掲げた数値につきましては、家庭ごみと事業系ごみも含まれていまして、小平は多摩地域では真ん中の１４位か１５位くらいです。数値目標が達成された場合は１０位以内に入るのではないかと考えています。様々な施策を実施することによって、ごみと資源の量については平成２４年度に比べて１５％削減、ごみについては２０％削減の予定で、数値目標を達成できれば他市の平均よりもよくなると思います。

委員 ４８０ｇ／人・日の数値は有料化後の数値目標ということですか。

事務局 有料化で１０％減くらいを考えていて、平成３４年度の数値目標は有料化後の数字となります。

② 小平市家庭ごみ有料化及び戸別収集への移行実施計画（案）について

事務局 資料２－１から２－５に沿って説明

オブザーバー 資料２－２の９３ページ１７２番の検討結果で、近隣自治体では収集経費がおおむね１～３割の増加になっていますという記載がありますが、私の行った調査結果でも民間の収集業者に委託する場合は２、３割程度の増で済むのかなという感じでした。

委員 カラスに荒らされる被害対策について、袋に加工をするということですが、どんな風にするのでしょうか。

事務局 黄色の袋でカラスには中身が見えない着色加工という特殊な加工をします。これで被害が軽減できるのではないかと考えています。パブリックコメントや住民説明会では、カラス被害の話が必ずというほど出ていましたので、こういう対策を取りたいと検討しています。杉並区では袋の実証実験を行っておりまして、ある程度効果が出ることを確認して取り入れていますので、ある程度信頼できると思います。

委員 コスト的にはどのくらい費用が増えますか。

事務局 通常のものに比べると２％から５％くらいの費用が増える可能性があります。

委員 資料２－５の２（３）ごみ減量の併用施策について、具体的にはどのようなことを考えていますか。

事務局 容器包装プラスチックの全量資源化、小型家電リサイクルの促進、陶磁器リサイクルの拡充、雑がみリサイクルの促進、食物資源循環事業の拡充、食物資源処理機器購入費補助金の維持や拡充などを考えています。また、事業者との連携による発生抑制、３Ｒ推進に関する取組を行っている民間事業者のエコショップ認定制度の検討などをしていきたいと考えています。

オブザーバー 不燃ごみの収集回数を毎週から４週に１回に変更しますので、これも併用施策になると思います。

会長 視覚障がい者が袋を判別する方法についてはどうなりますか。

事務局 いろいろな判別方法がありますので、視覚障がい者の団体の方々と相談しながら慎重に進めていきたいと考えています。

③施設の進捗状況について（報告）

事務局 資料３に沿って説明

（３）その他

事務局 次回の第１１回審議会は２月１５日開催を予定しています。